会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2020年　10月号

千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

２０２０年　１０月１日発行　通巻３３０号

日が短くなりました

秋のつるべ落としにご用心

１０月号目次

・目　次　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
・9月理事会報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
・事故防止交流集会案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
・リレーエッセー　市川山の会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
・常念岳山行報告　君津ケルン山の会　・・・・・・・・・・・・・・・・　８
・赤城山山行報告　かがりび山の会　・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
・北アルプス山行報告　かがりび山の会　・・・・・・・・・・・・・・・　１０
・海洋プラスチック問題を考える　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
・全国連盟６０周年記念レセプション案内　・・・・・・・・・・・・・・　１４
・ＵＩＥＥ・登山ハンドブック案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
・１０月・１１月予定表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６

表　紙　説　明

　ネパール・ランタン谷の名峰、ランタン・ルリン（7,245m）です。
「世界で一番美しい谷」・「花のランタン」に惹かれて、キャンジンゴンパを中心に１０日間一人でノンビリ（ボケーっと）してきました。
１０月だったので花は咲いてなかったが、青空と真っ白な峰々を堪能しました。
　２０１５年の大地震で、５０以上あったゲストハウス・民家が１軒だけ残り、行方不明者約４００人のうち１３０人が外国人（登山者・トレッカー）との事。
花の時期に「世界で一番美しい谷」が、どうなっているかぜひ訪ねたいと思っています。

――編集者――

9 月理事会報告

コロナウイルスの影響で３月より休会していた理事会を実施しました。
この間、各会の皆さんには山行自粛やコロナ対策をお願いしてご協力をいただきました。
自粛があけて活発な山行報告が届いています。しかし、まだ安心できる状況ではなくいっそうの感染防止が重要です。引き続き十分なコロナ対策をお願いします。

記

【日時・場所】2020 年 9 月 17 日（木）19 時～　船橋市西部公民館　第 4 集会室
【出席・県連理事】まつど遠足クラブ 1 年さくら組み・まつど山翠会・ふわくハイキングサークル・かがりび山の会・山の会「岳樺クラブ」・山の会らんたん
千葉民医連山を歩こう会・千葉こまくさハイキングクラブ・東葛山の会
松戸山の会・船橋勤労者山の会・きみつケルン山の会・ちば山の会
・県連役員　古瀬顧問・広木会長・鶴田副理事長・小林会計担当・菅井自然保護委員長・田中ハイキング委員長・伊東教遭委員長
【議事】
Ⅰ、各委員会報告
1.教育遭難委員会
① 事故報告 1 件　2020 年 7 月 17 日　北海道十勝連峰上富良野岳　転倒右足首腓骨骨折（まつど山の会）
② 事故防止経験交流集会案内
2020 年 11 月 7 日(土)　千葉県総合スポーツセンター　宿泊研修棟
3、ハイキング委員会　房総ロングハイクは実施予定
4、自然保護委員会　千葉県連主管の関東地区自然保護集会はコロナの影響で中止
5、海外委員会　2020 年はコロナ禍のため海外登山は実施せず。
2021 年は県連創立 55 周年行事として　先のアンケートで希望の多かった「ロシア極東サハリン地区のチエ―ホフ山/1045m」を予定
Ⅱ、ふれあいハイクの今後について
1、8 月 2 日開催の実行委員会報告
・次回は、2021 年 5 月 23 日（日）行く先は県連側で候補地選定中
・先に県連より障害者団体に打診していた「ふれあいハイクの参加者拡大」について前向きに検討をすすめるとの事
2、上記を踏まえた役員会からの提案
「地域、町内会、知り合い、友人等身近なところに障害をお持ちの方がいらっしゃったら、ふれあいハイクの話をして参加を呼びかける。あわせてその方のお世話をしている方々にも協力を兼ねて参加を呼びかける」
反対意見もなかった。理事から各会・会員に案内をお願いします。

ⅲ、交流山行について

1、かがりび山の会の伊東氏より交流山行計画の紹介があった

・日程：2021 年 11 月 15 日（日）

・行く先：筑波山裏筑波コース　眺望もよく歴史を感じさせる静かなコース

２、各会山行予定を、県連ホームページに掲載を引き続き検討をお願いしたい。

（鶴田副理事長より）

Ⅳ、労山カレンダーの取り扱いについて

千葉県連のまとめを、前年同様に羽鳥理事が引き受けてくれました。

以下のとおりお願いします。

・カレンダー必要部数を会でまとめて下さい。

① 全国連盟事務局に申し込み連絡をする。

Ｅメール jwaf@jwaf.jp　ＴＥＬ03-3260-6331　ＦＡＸ03-3235-4374

② 同時に羽鳥理事に同様の連絡をする。

Ｅメール　hatori0227@jcom.home.ne.jp

③ 代金のとりまとめは、広木会長が担当する。

振込先は各理事にメールで連絡する。

Ⅴ、海洋プラスチック問題について

海洋プラスチッ　　ク問題の研究者が指摘する「生態系や人体に及ぼす影響」の紹介あり、あわせて県連の今後の自然保護活動は海洋プラスチック問題にも目を向ける時期に来ているのではという提案あった。

各会で討議していただき、意見などをお願いします。

（広木会長より）

Ⅵ、その他

１、以前依頼した「新型コロナウイルスによる外出自粛中の活動報告」を未提出の会は提出をお願いします。（広木会長まで）

（文責　鶴田）

お願い

ふれあいハイクについて

２年に１回実施して、２０１９年は第１７回でした（台風で中止）

理事会報告にありますが、２０２１年に実施予定で実行委員会を中心に準備を進めています。

県連は障害者をサポートし、一緒に楽しむ事を目標に取り組んでいます。

昨年は、県連参加団体１０会で７７名の参加申し込みがありました。

会員の高齢化の影響なのか、最高年齢は８４歳、最低年齢は４５歳で、６９歳から７９歳が中心でした。これでは、サポートには不安を感じます。

ふれあいハイクの主旨を理解していただき、若い会員（４０代５０代）の皆様に障害者ともにハイキングを楽しいで下さい。

2020 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟 ･教育遭難対策委

今年も事故の共有化･再発防止と各会交流を趣旨に開催します。
今回は、千葉市内の公共施設にて日帰りで実施し、参加しやすくしましたので、 各会の積極的な参加を期待します。
詳細は下記を参照下さい。

記

1）主催 千葉県連盟･教育遭難対策委員会
2）日時 11月7日（土）10 時－16 時 30 分（9 時 30 分より受付）
3）場所 千葉県総合スポーツセンター宿泊研修所 大ホール
（2018 年 3 月定時総会開催場所） 千葉都市モノレール スポーツセンター駅下車
4）内容
(1)事故報告（45 分 10 時～） 昨年からの事故振返りと重大事故報告
(2)グループ･ディスカッション （1 時間 15 分 10 時 45 分～）
「コロナ時代の登山スタイル」をテーマにした話し合い
(3)外部講師の講演（1 時間 15 分 13 時～）
ワンダーズアドベンチャー 代表 中山氏による「エベレスト登山の魅力と高所登山の心構え」
(4)スマフォの活用（45 分 14 時 30 分～）
GPS 地図アプリ（ジオグラフィカ）の使い方と登山で有効なアプリの紹介
(5)フリーディスカッション（1 時間 15 時 20 分～16 時 20 分）
テーマ毎（ハイキング、クライミング、雪山、海外登山など）にグループ分けし自由な意見交換による情報交流 （参加申し込みフォームで希望グループを記入）
5）参加申込／締切 参加申し込みフォームは、9 月末に別途配布します。
10/24 締切。 参加者は 40 名程度（スタッフ含む）を予定しており、申込多数の場合は、調整 する事が有ります。
また、当日はマスク着用、手洗い･手消毒、換気などを徹底して実施します。

案内図

初秋の木曽駒ヶ岳山行

市川山の会　松宮　俊一

８月下旬、市川山の会の仲間と木曽駒ケ岳に登った。新型コロナウイルスの感染が収束しない中、大型バスに定員の半分、ケビンの利用、マスクの着用、体温測定と手指消毒、マイクを回さない、歌は歌わない、大声を出さない、おすそ分けをしない、など可能な範囲のコロナ対策は行った。

朝起き、駒ケ根高原家族旅行村のケビンから一歩外に出ると、青い空が広がり、素晴らしいい登山日和。ひんやりとした空気が肌に心地いい。残暑が続く関東地方とは大違いだ。

広場で準備体操を済ませ、萱台バスセンターからシャトルバスに乗車。曲がりくねった山道をバスはぐんぐん上っていく。車窓からは白樺やダケカンバ、遥か下方には中御所渓谷や駒ケ根市が望める。しらび平駅からはロープウエー、高低差約１，０００ｍを一気に上がる。眼下には水しぶきを上げ急峻な渓谷を流れ落ちる幾筋もの滝。木々の緑と滝の白のコントラストが美しい。しばしの空中遊覧を楽しむ。

約８分で標高約２，６００ｍの千畳敷駅に着く。気温１７度、まさに雲上の別天地だ。一歩外に出ると、抜けるような青空の下、天を衝く宝剣岳を盟主に、花崗岩の岩峰がコロセウムのような千畳敷カールを取り巻いている。圧倒的な景観だ。思わず歓声が上がる。

記念写真を撮り、剣ケ池コースから登る。ミヤマアキノキリンソウ、ウメバチソウ、ウサギギク、ヤマハハコ、サクライウズ、シナノオトギリ、ミヤマリンドウなどの初秋の花々が、千畳敷カールを彩る。八丁坂分岐から乗越浄土までは本格的な登り。左手に宝剣岳を見ながらジグザグの急坂を一歩一歩登る。オットセイ岩を過ぎ、最後の急坂を登ると乗越浄土に着く。前方にはゆったりとした稜線の中岳、左手には宝剣岳の三角錐、木曽駒ケ岳はまだ見えない。振り返れば、逆光の中、南アルプスの高峰群が湧きたつ夏雲の間に見え隠れしている。

天狗岩・三沢岳を見ながら岩の路を登ると中岳の頂上。やっと前方に木曽駒ケ岳が見える。左手奥には未曽有の噴火災害を起こした御嶽山、右手には夏雲の間に乗鞍岳。振り返れば宝剣岳の岩峰。岩に登って展望を楽しみながら休憩をとる。後に続く仲間に「ヤッホー」と声をかける。仲間が手を振る。

中岳から木曽駒ケ岳までは少し下って登り返す。岩の間を慎重に下ると、トウヤクリンドウがあちこちに咲いている。薄いクリーム色の珍しいリンドウだ。

頂上直下のやや急な岩の路を登ると、中央アルプスの盟主木曽駒ケ岳の頂上に着いた。ここまで、千畳敷駅から約２時間余り。若者の姿が多い。三角点にタッチし、向きが違う木曽と伊那の二つの駒ケ岳神社に登山の無事を祈る。昼食を摂り、至福の時間を過ごす。３６０度の展望のはずだが、次々と夏雲が沸き上がり、雲の切れ間からしか周りの山々を望むことはできない。仲間が空気が薄いと言っているが、私には感じられない。

同じ道を慎重に下山する。乗越浄土では、かつて登った宝剣岳の頂上から呼びかけている人に手を振る。今から登ってくる人もいる。今日は山小屋泊まりか。

全員無事下山。帰りは麓の早太郎温泉「こまくさの湯」で汗を流し、疲れを癒す。露天風呂からは、宝剣岳の鋭鋒が夕日に輝いているのが見えた。「お疲れさん」と言っているようだ。

車内では、みんなの健闘を祝って乾杯。満足感でいっぱいの顔だ。いつものカラオケや感想の発表はできないので、日本百名山のビデオを見て、次回の山旅に思いを馳せながら、西船橋までの時間を過ごした。

今回の山旅は、天気に恵まれて、展望を楽しみ、初秋の高山植物を愛で、天然温泉で疲れを癒し、コロナ禍でたまったストレスが一気に解消できた印象に残る山旅だった。市川山の会は、これからも「新しい登山様式」で山を楽しんでいきたい。

常念岳~蝶ケ岳　　君津ケルン山の会　神田武治

2020 年 8 月 22 日~24 日　参加者　60 代→3 名、70 代→2 名、80 代→2 名

・晴天が　続いた後も　石清水　途切れることなく　山は水瓶
・アルプスの　風吹きわたり目の前に　槍　穂高あり　蝶ケ岳ヒュッテ
・夜明け前　穂高岳山荘の　灯がうれし　あそこにもあり　人の営み

常念岳の頂きからは、槍ケ岳から穂高岳への稜線が目の前に大きい。穂高岳の向こうに乗鞍、その奥に御嶽山。槍の右のほうに立山のかたまり、その奥に剣岳、ずっと右のほうに鹿島槍の双耳峰が少しかすんで見える。山座同定が楽しい。

古い会報をめくってみると、4 名で 2002 年（H14 年）10 月 9～11 日、テント泊で同じルートを歩いている。18 年前はまだまだ元気がよかったのだろう、テントも担いでいたはずなのにきついと思った記憶がない。

天気予報は、午後少し降りそうだったが、晴れが続いていたし、台風の気配もなかった。また若い人が計画し小屋と密な連絡もしてくれた。歩行時間に余裕があり決行を決めた。

実際は午後パラパラと弱い通り雨がありカッパの上着を着たが、さして歩行に影響はなかった。歩行時間は一の沢を 9 時に歩き始め、常念小屋に 16:30 に着いた。

小屋ではコロナ禍の最中でさすがに徹底していた。配膳をする人はカッパ（？）、フェイスシールド、手袋と完全装備。寝床は布団ごとにアクリル板の仕切り、紙の枕カバー。

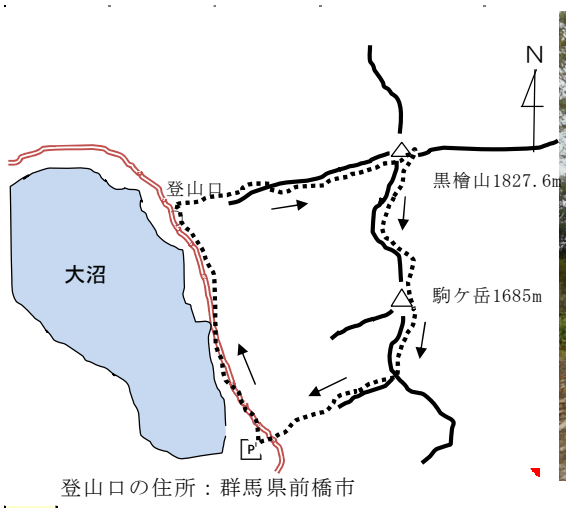
我々も長野県が出している「登山者へのお願い」などを把握し、体調管理、マスク、検温、山小屋への事前予約、余裕ある歩程などコロナへの感染対策に努めた。蝶ケ岳ヒュッテではすべて個室であった。両小屋とも宿泊者は非常に少なく密になることはなかった。

２日目は常念岳の登りが意外と長くきつく感じた。下りは巨石の間を縫うようにして下り、樹林帯の手前で昼食、蝶槍までも長かった。蝶槍からは小屋を目の前に見てなだらかな起伏。明るいうちに小屋についた。地図の時間の 2 倍近くを費やしたが私としてはゆっくりのんびりの想定内であった。蝶からの下りは樹林の中、短い階段が多くて歩きにくい。

前回と比べて 18 年の差は大きい。でも今回は行程に余裕があり、ゆっくり歩いたのがよかった。81 歳の私は今後、体力が低下していくばかりの状況で、どんな山歩きを目指すか示唆に富んだ山行であったが、コロナで厳しい状況でも、楽しい山行ができた。まだまだ行ける山はいっぱいありそうだ。でも気力だけでは無理なこともよくわかった。

赤城山（黒檜山・赤城駒ヶ岳）会山行記録

記録 :有賀秋男



赤城山山頂にて 1827.6m

行　程　９月５日（土）

柏駅発 6:00　⇒おのこ駐車場着 8:45-9:10 発　→登山口 9:30　→黒檜山 11:30-12:00　→　赤城駒ケ岳 13:00　→おのこ駐車場着 14:25　⇒柏駅着 18:30

参加者　男６名　女７名　Ａ班５名　Ｂ班４名　Ｃ班４名

かがりび山の会は新型コロナウイルスの感染防止のため、会としての企画山行は４月より自粛して９月より企画山行を再開しましたので再開後はじめての会山行となりました。群馬県を代表する榛名山、妙技山と並んで上毛三山の日本百名山の一つに加えられる赤城山、黒檜山・赤城駒ケ岳の山行に挑戦しました。

コロナ感染防止対策として、かがりび山会の方針で４～５名のグループに分け班ごとに行動して実施しました。

おのこ駐車場に予定どうり到着し、先ずスポーツジムのインストラクターさんによる準備体操をしてから登山を開始しました。

登山口から続く急な斜面はコロナ自粛でなまった体にはこたえ、黒檜山のコースタイムの１．５倍の時間を要するゆっくりした登頂になりましたが７０歳を超える参加者数名が、黙々と汗をかきながら登る姿はみんなに元気を与えてくれました。

計画では天空の広場で富士山を眺めながら昼食を摂る予定でしたが生憎、登頂と同時に雨が降りはじめ楽しみにしていた絶景はお預けになりました。

小雨が降るなか黒檜山から赤城駒ケ岳を経て無事下山しました。

天候に恵まれない部分はありましたが１３名全員が無事帰還できたことが何よりのご褒美でした。参加者の皆さんよく頑張りました。ありがとうございました。

餓鬼岳　唐沢岳　燕岳　大天井岳　常念岳　単独山行記録

かがりび山の会　小金井　由紀子

7 月 31 日　夜行バス　2305 バスタ新宿⇒0505 信濃大町
8 月　1 日　0600 白沢登山口→0800 最終水場 0820→1030 大凪山 1100→1330 餓鬼岳小屋
8 月　2 日　0500 餓鬼岳小屋→0720 唐沢岳 0800→1030 餓鬼小屋
8 月　3 日　0440 餓鬼岳小屋→0830 東沢乗越 0900→1130 北燕岳→1140 燕岳 1200→1220 燕山荘
8 月　4 日　0430 燕山荘→0730 大天井 0805→1055 常念小屋
8 月　5 日　0440 常念小屋→常念岳→0630 常念小屋 0710→1040 一ノ沢

今年の北アルプスはどこに行こうかと地図とにらめっこ。餓鬼という漢字がなんとも興味をそそりそこからの縦走を計画。

1 日目は寝不足、標高を上げる、荷物が重い・・・等々だいたいへろへろになる。今回もしかり。出発前に量ったザックは 20 キロ超え、ヒョエーこんなんで 1700m も担ぎ上げられるのか？それでもビール１缶は外せなかった。展望なし、ひたすら急登を歩く。途中で眠くなって５分ほど登山道脇で仮眠。意識が朦朧としてゆっくりペースで歩く。

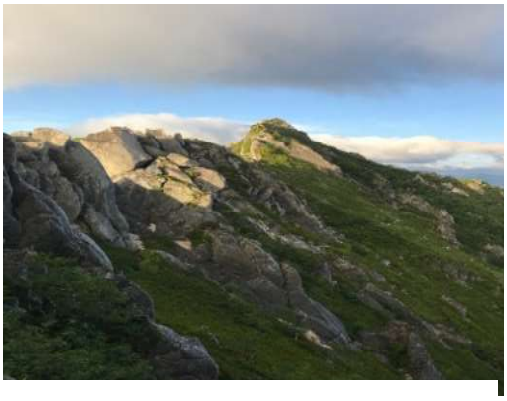
２日目　唐沢岳ピストン。ここを行く人は日程に余裕がないとなかなか行けないが、それなりの価値あり。山頂は 360 度の展望、眼下には高瀬ダム、そして、烏帽子、鹿島槍、剱、などぐるりと見渡すことができる。

３日目　剣ズリから東沢乗越までが今回最大の難所で珍しく前夜は緊張して眠れなかった。とにかくザックが重くて右に左に振られる、一度は足元が草で見えずに滑落しそうになった。ＣＴより１時間も余計にかかり東沢乗越に着いた時は安堵の一言。この日は大天井まで行く予定が疲れて燕泊。幕場も要予約ではあったが、訳を話したら快く泊めさせてもらうことができた。

４日目　燕から常念までの楽々ルート。高低差は多少あっても緊張することもなく景色を楽しみながらなくのんびりと歩く。大天井から見る槍ヶ岳は圧巻であった、来年はあの頂に立とうかな、とすでに来年夏の計画を考える。順調ならかがりびの仲間と常念で落ち合うことになっている、会えた。長年待ち焦がれていた恋人に会えたような喜び、ひとりが好きだけど、仲間っていいな。嬉しくてロング缶 3 本も飲んじゃった！

５日目　朝イチで常念に登り一ノ沢へ下山。

２年ぶりの５日間縦走。年々体力が衰えいつまでテント担いで歩けるかわからない。でも、まだやめられないかな。１冊持って行った小説「８月の６日間」も読み終えた。天候にも恵まれて思い出いっぱいの北アルプスであった。


餓鬼岳より剣ズリを拝む

幻想的な燕岳テント場

大天井岳 2922m 山頂

海洋プラスチック問題について

（海洋プラスチック研究者（東農大教授・高田秀重氏）の指摘の抜粋）

新型コロナの世界的な感染拡大が進む中で思い浮かべたのは、３０年ほど前にバルト海や北海でアザラシの大量死でした。直接の死因はウイルス感染であったが、それだけでは説明がつかず、最終的には海を汚していた有害な化学物質でアザラシの免疫力が低下し、引き起こしたと考えられています。

・ 免疫力低下の指摘

私は、プラスチックを中心に人工的な化学物質の海の汚染問題の研究をしています。動物のホルモンの働きを乱す「環境ホルモン」や発がん作用を持つものがあります。海に流出し微細化した「マイクロプラスチック」にはこれらの化学物質が含まれたり、付着、濃縮したりしています。

マイクロプラスチックを飲み込んだ魚や貝を食べる人間が、これらの化学物質に日常的にさらされている可能性があると分かってきました。食べているものもプラスチックで包装されたものが多く、それを通じてさらなる可能性もあります。

新型コロナでは、アメリカをはじめ医療体制が進んだ国々でも重症化や死亡者が目立ちます。政府の対応の遅れや経済格差といった事情はあるにしても、これらの国々で人々が有害な化学物質に日常的にさらされていることが背景にあると考えています。

プラスチックにこれらの化学物質が含まれるのは用途に合わせて、軟らかくしたり、燃えにくくしたり、紫外線による劣化を防ぐ目的で、さまざまな化学物質が添加されているからです。これらは、有害かどうかわからない段階で使い始められてしまいます。最近、環境ホルモン作用がつきとめられた化学物質は、紫外線吸収剤として何十年も前からプラスチックに添加され続けてきたものです。

・ 魚や貝を通じ再び人に戻る

さらに、海洋プラスチックは海を漂っている間に、海水に含まれているＰＣＢ（ポリ塩化ビフェニール）などが付着し濃縮します。20 年ほど前に東京湾で実験を行い、世界で初めて明らかにしました。

海洋プラスチックは海を漂っている間に波や紫外線によって壊され小さくなります。目に見えないほど小さなものがたくさん存在します。このようなものだと、魚や貝の餌になるプランクトンものみ込みます。海で動物たちがプラスチックをのみ込めば、化学物質が動物の体に移行することで起こる悪影響も考えられます。

魚や貝を通じて、人間がつくりだした有害なマイクロプラスチックを介し、再び人間に戻ってくるということが現実に起こっているのです。

新型コロナの感染拡大で不織布のマスク、テークアウトの弁当の容器などプラスチックの使用が増えています。感染拡大を防ぐためにプラスチックを使い、新型コロナ重症化のリスクを高める悪環境に陥っては何もなりません。

・ 悪循環を断ち切る方法ではなく

一昨年主要七か国（Ｇ７）ス首脳会議で「海洋プラスチック憲章」がまとめられ、直後

にプラスチックストローの廃止の動きが広がるなど、プラスチック削減の機運が高まっています。日本でも、スパーやコンビニでレジ袋の有料化が始まりました。レジ袋を有料化しても減らせるプラスチックの量はわずかだという指摘もありますが、これをきっかけに次はどんなプラスチックを減らせるかを考えることが大事です。代用できるものは、どんどん切り替えるべきです。

そもそも、レジ袋には有害な化学物質が含まれていて、マイクロプラスチックにもなりやすいのです。レジ袋を飲み込んだことにより死亡したと考えられているクジラも報告されています。まずは、レジ袋を減らすべきです。

新型コロナは、世界のあらゆる場所からさまざまなものを運んできて消費する現在のグローバルリズムの問題点をあらためて浮き彫りにしました。このままでは、新型コロナが終息しても、第2、第3、のパンデミック（世界的流行）が起こるでしょう。

千葉県連盟の自然保護活動についての

千葉県連盟　　広木　国昭

１、自然保護活動の経緯

労山は創立以来「自然を守る」ことを運動の中心として、１９７０年から全国的に清掃登山（クリーンハイク）を実施し、第２７回全国連盟総会（２００６年）で「自然保護憲章」を制定して自然保護に取り組んで来た。

千葉県連盟は「房総の豊かな自然を守る」「地元住民の生活と文化を守る」を念頭に地元住民と共に自然保護運動に取り組み大きな成果をあげている。

毎年、加盟会の参加・協力でクリーンハイクを中心に活動して、房総の山、川からゴミを一掃

① 房総スカイラインの建設

・千葉県自然保護連合に活動参加・・・・・・ニホンザルの群生地の保護

② ゴルフ場造成の動きに対して

・ゴルフ場問題協議会を結成・・・・・・現地調査とアセスメントに対する抗議活動

③ 小櫃川上流の七里川渓谷にダム建設に反対運動」ついて

・ 1995 年に千葉県が多目的ダム(治水調整・水道水確保)を計画、この中で特に追原ダム建設に反対し中止させた。

④ 鬼泪山を山砂採取から守る運動（2009 年）

・鬼泪山の山砂採取は君津、木更津、袖ヶ浦の三市の水源を破壊するものである。千葉県は日本一の山砂生産県である。　この地域は昭和４０年代から始まった山砂採取により消失した森林は、３００ヘクタールと言われ自然や生態系はすでに瀕死状態で、山砂採取可能な民有地が減少し、山砂業者は国有林からの採取を計画した。

千葉県連は「鬼泪山の国有林を守る市民の会」に参加し、現地見学会やクリーンハイク、官庁への中止要請行動・署名活動等を地元住民と共に実施した。

鬼泪山の山砂採取を中止にした原動力は、ふるさと房総の素晴らしい自然を乱開発から守るため、地元住民と力を合わせた千葉県連盟の力である。

２、自然保護運動の現状について

１、クリーンハイクについて

①　自然保護委員会の行事として、県内の登山道、河川のゴミ、不法投棄された生活廃棄物を回収し自治体に搬出の協力を得て実施して来た。
しかし近年は、登山者のモラルの向上もあり、登山道のゴミは無くなっている。

②　県連行事・統一クリーンハイクへの参加者は年々少なくなっている。
これは会員の高齢化や自然保護活動の意識の低下もあると思われる。

③　クリーンハイクの計画・実施にも問題はある。
クリーンハイクは登山者、登山団体の義務であり、労山たるゆえんでもある。

・参加しやすい時期・場所・案内等が適切でなかった。

・クリーンハイクの実施イコール自然保護活動との安易な考えがありマンネリ化している。

２、千葉県の自然を守る活動

鬼泪山山砂採取反対運動以後、房総の自然を守る活動は、鴨川メガソーラ問題に取り組んでいる。しかし、現地「メガソーラの中止を求める会」との連絡や協力関係が十分でなく、実質的に何も実施していない状況である。

３、今後の自然保護活動について

①　クリーンハイクについて
県内の登山道、河川等の不法投棄の生活廃棄物の回収を継続する。
各会の要望・意見を参考に、実施時期、場所、参加方法等について検討する。

②　県内の自然、環境破壊開発、産廃物処理場建設の監視と阻止。
千葉県は都心に近く山林や、休耕地も多く、産廃処理場の建設が多く、有害ごみ処理場もある。地下水や環境に対する影響等を監視、調査が必要です。

③　海洋プラスチック汚染への取り組みの検討、実施。

・山からゴミをなくす活動を継続してきたが、山からゴミがなくなっている現状から「いつまでゴミ拾いを」「ゴミ拾いだけが自然保護ではない」等の声も聞かれる。

・海洋プラスチックの環境に及ぼす影響が深刻になっている現在、自然保護活動も山から海に目を向ける時期かと思う。

・海に囲まれた千葉県だから取り組まなければならない問題である。同時に内陸部の河川、沼、湖からプラスチックを一掃する必要がある。

４、海洋プラスチック問題に取り組む・・・としたら。

・単独では無理で意味がない。（対象が広く大きい、実施は徹底、継続が必要です）

・自治体の協力、支援が絶対必要。（回収物の回収、処理、地域との協力がポイント）

・県内の自然保護団体との協力、共同実施。（県内の自然保護団体は、地域の問題に特化した団体が多く「オール千葉」で結集出来るかがポイント

・従来の「ゴミ拾い」とは、実施の趣旨、活動内容も大きく変わる。各会での議論を持ち寄り十分な時間をかけて計画・実施をめざす。

以　上

日本勤労者山岳連盟　創立６０周年記念講演会・レセプションのご案内

夏山シーズンを迎えましたが、今年は４月に緊急事態宣言が全国に発令され、いつもと違う日常となっております。皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか？

さて、私たち日本勤労者山岳連盟は、1960 年５月 12 日に創立され、本年 60 周年を迎えました。この間、登山・ハイキングが健康で文化的な生活のひとつであり、平和で民主的な国民生活に根ざしたスポーツ・レクリエーションとして、普及し発展させることを目的として活動してきました。これは、多くの方々にご支援とご協力をいただいたおかげと、深く感謝申し上げます。

今後の活動の飛躍と登山文化発展のために、節目の年をご一緒に祝いたいと思います。

ぜひ、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

2020 年５月 30 日
日本勤労者山岳連盟　会長　佐々木功

記念講演会

日　時　　2020 年 11 月 14 日（土）　受付開始　12 時半　開会　13 時　終了　17 時

会　場　　神田明神ホール
〒101-0021　東京都千代田区外神田　１－１０４－１９　電話 03-5285-1121

会　費　　1,000 円（記念レセプション参加者は無料）

記念レセプション

日　時　　2020 年 11 月 14 日（土）　受付開始　17 時半　開会　18 時　終了　20 時

会　場　　ホテル東京ガーデンパレス
〒113-0034　東京都文京区湯島　１－７－５　　電話　03-3813-6211

会　費　　10,000 円（記念品代を含む）

振込先：　郵便振替口座　　口座番号　００１４０－５－５６３３２８
加入者名　　労山行事会計係
郵便局（ゆうちょ銀行）以外からの振込は　金融機関名　ゆうちょ銀行
店名　〇一九　預金種目　当座　店番　０１９　口座番号　０５６３３２８

詳細・問い合わせ：
全国連盟事務局　jwaf@jwaf.jp：０３－３２６０－６３３１
千葉県連会長　広木　国昭：danphiro@zpost.plala.or.jp

待望の　*日本語訳が出版される！*

UIAA（国際山岳連盟）の登山技術スタンダード
「総合登山技術ハンドブック（夏季）」

UIAA（国際山岳連盟）が登山の世界スタンダードとして発行している技術書、この本が日本語に翻訳されました。

発行元は「日本山岳・スポーツクライミング協会」ですが、日本勤労者山岳連盟も全面的に協力し、翻訳者は　労山国際部長・大和田英子理事です。

見本として一冊贈呈します。ぜひ労山会員に広く普及してください。注文は下記の通り労山全国連盟・事務局までお願いします。

☆販売方法は発行元との約束で定価販売（2000 円＋消費税）となっています。

☆　地方連盟および加盟団体で２冊以上、まとめて注文して一か所へ送るようにしていただけると助かります。送料は全国連盟で負担します。

代金は 2200 円×冊数になります。お届け先の郵便番号・住所・氏名・電話番号・冊数を明記してお申し込みください。振込用紙を同封しますので、届き次第の振込をお願いします。

☆７月以降はホームページへ掲載し労山会員以外の方へも普及・販売できるようにします。

売り切れることはないと思いますが、発行部数が限られているため、必要な方は早めにご注文下さい。

2020 年６月 17 日

＊＊＊ 日本勤労者山岳連盟 ＊＊＊

〒162-0814　東京都新宿区新小川町　５－２４
TEL　03-3260-6331　FAX　03-3235-4324
フリーダイヤル　0120-44-2742（平日 10～18 時）
URL http://www.jwaf.jp E-mail jwaf@jwaf.jp
事務局長　☆　川嶋 高志　☆

県連予定表

１０月		
日付	曜日	会議・イベント
1	木	
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	役員会 19:00~ @県連事務所
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	理事会 19:00~ @船橋西部公民館
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	教遭委員会 19:00~ @県連事務所
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

１１月		
日付	曜日	会議・イベント
1	日	
2	月	役員会 19:00~ @県連事務所
3	火	文化の日
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	理事会 19:00~ @船橋西部公民館
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	勤労感謝の日
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	教遭委員会 19:00~ @県連事務所

事故発生時の連絡先

◉事故一報は事故発生後一か月以内に！

◉全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局
メール：　jwaf@jwaf.jp
ファクス：　03-3235-4324

県連教育遭対委員会
メール：　itou2385@yahoo.co.jp（伊東）
ファクス：　043-271-4704（岡田）

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座　00160-3-481509　（ゆうちょ銀行　〇一九店　口座番号0481509）

千葉県勤労者山岳連盟

発行者：　千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者：　広木国昭

住所：　〒261-0013　千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話：　043-306-1190　E-mail：　rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP：　https://www.cwaf.jp